

理学部 7号館の一日

A DAY OF ISers

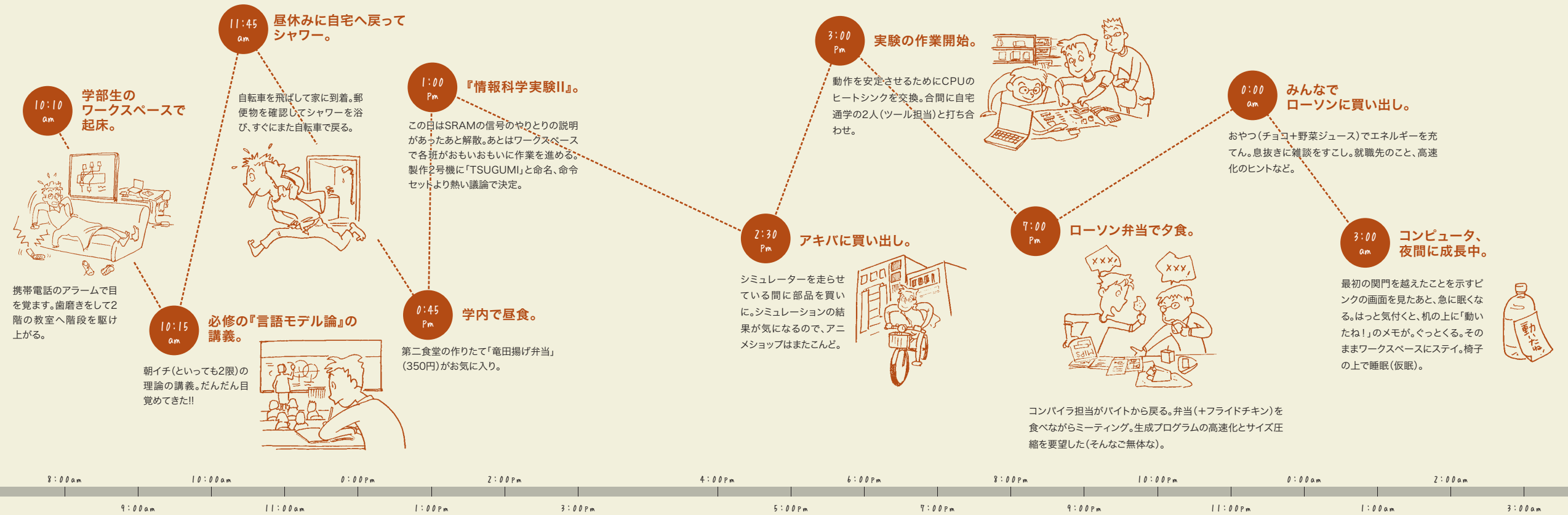
情報科学の学生は自分たちのことを「ISer(アイエー)」と呼びます。つまり「情報科学(Information Science)する者」。ISersはどんな情報科学漬けの日々を送っているのでしょうか。3年男子学生A君と4年女子学生Bさんのある1日を追ってみました。

A君の場合・3年冬学期

コンピュータの中核を作る……CPU実験に没頭する1日

3年生の冬学期になると『情報科学実験II』(CPU実験→P.10)が始まる。この授業は、5~6人の班でCPUからコンパイラやツールまで設計・製作する。各人の担当作業を調整しながら、発表会までにより速いコンピュータ作りを競うので、チームワークが大事。

A君はもう1人と、CPUの開発と基板製作のハード周りを担当。「ツールはいつごろできそう?」「命令語を1つ追加したいのだけど」とミーティングを繰り返しながら製作を進めている。



Bさんの場合・4年夏学期

論文を読んで考えて……思考力を鍛えあげていく1日

4年生になると『情報科学演習III』が始まる。演習では、3つの研究室に1カ月ずつ仮配属となり、その後の卒業研究の方向性を探りながら、研究課題に取り組む思考法・実践法をトレーニングする。理論の分野を志望しているBさんは、毎週、テーマに沿って自分で新しい解法を探り、その経過と成果にアドバイスをもらって、さらに思考を深めている。

吹奏楽のクラブに所属しているので、放課後週3日と土日は部活、残りの週2日はバイト。ハードだけれど充実している毎日々だ。

